

2015 年度九州沖縄地区合同シンポジウム  
「海洋表層の物理過程と海洋生態系・水産資源」

共 催：一般社団法人水産海洋学会・日本海洋学会西南支部

日 時：2015 年 12 月 11 日 10:00～17:00

場 所：長崎大学水産学部大会議室（長崎市文教町 1-14, 電話 095-819-2793）

コンビーナー：万田敦昌（長崎大大学院）・山田東也（水研セ西海水研）

挨拶：日本海洋学会 西南支部長 山城徹（鹿児島大） 10:00-10:10  
趣旨説明：万田敦昌（長大院水環）・山田東也（水研セ西海水研） 10:10-10:20

座長：万田敦昌

【基調講演】

放射伝達数値モデルと応用 田中昭彦（東海大清水教養教育セ） 10:20-10:50

【話題】

1. 2点角を用いた後方散乱係数の高精度推定法 丹佑之（国際海洋開発） 10:50-11:10  
-休憩- 11:10-11:20
2. 海洋表層の乱流混合と植物プランクトン動態 吉川裕（京大理） 11:20-11:40
3. 内部潮汐が有明海の鉛直混合に果たす役割 堤英輔（九大応力研） 11:40-12:00
4. ラングミュア循環流の形成機構と湖沼・内湾におけるその影響 鶴崎賢一（群馬大工） 12:00-12:20  
-昼休み(日本海洋学会 西南支部 総会)- 12:20-13:50

座長：山田東也

5. 山陰沖遠距離海洋レーダ観測海域における流動場とプランクトン分布 13:50-14:10  
滝川哲太郎（水大校）
6. 対馬海域における動物プランクトン群集の時空間変動 児玉聡伸（鹿大水産） 14:10-14:30
7. 北部薩南海域における動物プランクトン群集組成および生産力 遠藤有紀（鹿大水産） 14:30-14:50
8. モデル解像度の違いで生じる日本海の生態系応答の変化 高山勝巳（九大・応力研） 14:50-15:10  
-休憩- 15:10-15:20

座長：万田敦昌

9. 宮崎県海域における長期的な沿岸資源変動と海況変動 渡慶次力（宮崎水試） 15:20-15:40
10. 対馬沿岸における協働海洋学的漂流ブイ観測による地域知の発掘 15:40-16:00

清野聡子（九大院・工）

11. 五島列島福江島北西部における漁業者の経験知についての沿岸海洋学的検証 16:00-16:20  
須崎寛和（九大・工）

【総合討論】

閉会 16:20-17:00  
17:00

趣旨説明：海洋表層における様々な物理過程は海洋低次生態系の動態を規定する主要因であり、また水産資源の変動に対しても大きな影響を及ぼす。近年、観測技術およびシミュレーション技術は長足の進歩を遂げ、数多くの成果が報告されている。今後、海洋表層の物理過程が低次生態系に及ぼすメカニズムを解明し、将来の水産資源変動の予測に資するためには、これまで得られた様々な研究成果を統合していくことが必要不可欠である。しかし、これまでのところ、分野の細分化や限定的な研究者間の交流などが影響し、関連する分野間の交流が進んでいない。本シンポジウムは、そのような現状を打破する一助となることを目的としている。現在の課題を関連分野の研究者が一同に会して議論し、今後の研究の進展に役立てたい。

問い合わせ先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

万田敦昌 電話：095-819-2810 email: manda' at' nagasaki-u.ac.jp ⇒' at' を@に変換してください。